

## 委員指摘について（第 1 回ドーハ国際園芸博覧会屋内出展実行委員会）

指摘内容	対応状況・関連情報
1. 屋内展示の場所、区画等の情報	日本の屋外出展区画に隣接して建てられる屋内展示施設内に屋内展示区画を確保できる見込み（資料 1-2）
2. 展示場所の水供給について（カタールは海水を淡水化して利用）	安定的な水供給に支障はない。
3. カタールにおける花きの需要、ニーズ等	近年カタールは花き類の輸入量が増加しており、花きの消費も定着していると推定されるが、現地における花きの嗜好調査が必要（資料 1-3、1-4）
4. カタールにおける生け花関係団体の動向	カタールにはいけばなインターナショナルの支部はないので、現地協力団体の確保が必要。
5. カタールに支障なく花き類を輸送できるか実証が必要	カタールは気温が高く、同国への輸出実績も少ないことから、輸送の実証を行う。（資料 1-4）
6. コンテストの出品準備（作付等）を円滑に進めるため、コンテストに係る速やかな情報提供が必要	コンテストの実施に関する特別規則や具体的な実施マニュアル等はまだ制定されていないため、早期に提示されるようドーハ事務局に要望していく。
7. 展示の管理等を行う専門スタッフを派遣する場合、宿舎から会場への交通アクセスへの配慮も必要	ドーハの宿舎事情については、今後出展委託事業の中で現地調査時等に情報収集を行う予定（会場のアルビッド・パークから約 2.5 キロのウエスト・ベイ地区には多くのホテルあり）
8. ドーハ博覧会のテーマも踏まえ、底面給水、水耕栽培、壁面緑化、植物工場など、緑化・栽培技術等の展示の検討が必要	「緑の砂漠、よりよい環境」というドーハ国際園芸博覧会のテーマに即して、新技術の展示を行うことを検討（資料 1-5）